

<学界消息>

◇日本環境教育学会第12回大会記録

日時 2001年8月17日(金)～19日(日)

場所 九州国際大学

講演発表

- A101 「島根の環境問題」を作成して～対立するテーマを取り上げる環境教育～：滝口素行（島根県立邑智高校）
- A102 「地域環境計画策定過程における環境地図教育の意義」（第1報）：桂川雅信（北海道教育大学札幌校地域環境教育課程非常勤）
- A103 「屋久島野鳥ガイド」の作成と活用：柳田一郎・〇脇田実継（(財)屋久島環境文化財団）
- A104 身近な環境について調べよう～「グリーンコンシューマーになろう」の実践を通して～：牧宏（名古屋市立庄内小学校）
- A105 屋久島山岳部における水溶性ポケットティッシュペーパーの導入と環境教育：〇柳田一郎・脇田実継（(財)屋久島環境文化財団）
- A106 こどもエコクラブの活動～沖縄エコスタディプログラムの活動を通して～：〇牧宏・桜井温子（らぶらぶエコアジア・サポーター）・クラブ員の中学生4名
- A107 環境保全に係わる市民組織の活動支援のあり方について：〇小川宏樹（三重大学大学院工学研究科）高山進（三重大学生物資源学部）
- A108 協働でつくる水環境学習教材集の開発(Ⅱ)～学校と環境教育センターとの連携を通して～：〇山尾健一（大津市立唐崎小学校）川嶋宗維（滋賀大学環境教育湖沼実習センター）
- A201 地域の施設・人材の連携を重視した環境学習：藤岡達也（大阪府教育センター）
- A202 姫治の未来をえがこう～棚田を生かして～：尾島美恵子（浮羽町立姫治小学校）
- A203 「やまとエコデザインプロジェクト」（地域に密着した環境マネジメントのしくみづくり）：〇小寺昭彦・渡辺敦（NPOかながわ環境教育研究会）地福由紀（(株)アトリエ福）
- A204 まちづくりのエージェントとしての子どもと学校：寺本潔（愛知教育大学）
- A205 長野県廃棄物問題の現場体験を通しての学び：下羽友衛（東京国際大学国際関係学部）・〇今井睦子（々4年）・〇波多江寛子・秋山朋子（々2年）
- A206 フィリピンで見つけた持続可能な問題意識と社会参加のための鍵：下羽友衛（東京国際大学国際関係学部）・〇吉田大地・〇樋口麻美・石山恵（々3年）
- A207 フィリピンでの「問題解決型」現場体験学習とその成果(2)～私たちが変わる、私たちが変える～：下羽友衛（東京国際大学国際関係学部）・〇富永貴秋・〇渡辺文郁・東みずほ（々3年）
- A208 ダイオキシンで注目の所沢市の環境汚染と人々の健康について(2)：杉浦公昭（東洋大学工学部）
- B101 自然環境と健康～自然環境下での生体機能～：〇永吉英記（国士舘大学）川村協平（山梨大学）・山田亮（々大学院）
- B102 「武蔵野の自然史」に学ぶ環境学習～高校地学分野からのアプローチ～：正田浩司（埼玉県立新座北高等学校）
- B103 身近な自然を人はどのように認識しているか～限定した地域を調査して～：〇岩浪順子（茨城大学大学院・美野里町立納場小学校）利安義雄・大辻永（茨城大学）
- B104 タンポポ調査・大阪2000の結果報告(25年間の分布変化)：高島耕一郎・〇木村進（(社)大阪自然環境保全協会・タンポポ調査委員会）
- B105 播磨地域の降雨の継続的な観測から：田先崇志（兵庫県立香寺高等学校）
- B106 土壌機能から見たスギ林と広葉樹林、皆伐林の比較検討：福田直（埼玉県立狭山高等学校）
- B107 青空カードを用いた空の環境調査：〇高橋正昭・加藤進・岩崎誠二（三重県科学技術振興センター保健環境研究部）・島洋久（(財)国際環境技術移転研究センター（ICETT））・宮尻英夫（三重県環境防災研究所）
- B108 体系的な土壌の環境教育に関する研究～第4報 土壌体の持つ機能の重要性～：〇田村憲司・東照雄（筑波大学応用生物化学系）
- B201 「エアロゾル(黄砂)」を素材とした環境教育の展開：重藤英一（大阪府門真市立第二中学校）
- B202 自然保全をテーマにした問題解決学習の理論と実際～社会教育における学習経過の解析から～：樋口利彦（東京学芸大学環境教育実践施設）
- B203 自然とのふれあい環境教育の評価法に関する研究：藤田均（青森大学大学院）
- B204 まちの歴史と自然を生かす情報づくりの試み～仙台市広瀬川の事例～：〇松山正将・花渕健一・菊地清文・佐伯吉勝（東北工業大学）
- B205 郷土の掘起こし～「屋号さがし」：〇熊澤峻子（横浜市泉区区民会議）熊澤貴子（WWF J）
- B206 大和吉野川調査20年：本庄真（香芝市立真美ヶ丘東小学校）
- B207 高校生による地元の自然環境調査～選択科目「埼玉の環境」での実践～：〇倉川博・小原正明（埼玉県立飯能高等学校）
- B208 水田・湿地における水中微小生物を学習するためのサイバー教材「微小生物図鑑Microbio-World」

- の開発：○見上一幸・木村直美・鶴川義弘(宮城教育大学)岩瀬成紀(仙台市科学館)
- C101「学習指導要領」にみる「環境学習」：大庭茂美(九州女子大学)
- C102 環境教育における「体験学習」から「実践学習」への移行：新田和宏(わかやま地球市民教育研究所)
- C103 環境教育実践における地図利用の有効性に関する一考察～環境教育の再構築に向けて～：○木俣知大(東京農業大学大学院)関岡東生(東京農業大学)
- C104「総合的な学習の時間」に焦点を合わせた高等学校における環境学習～環境学習プログラム「つながりの回復と自分探し」の開発と実践～：○宮嶋克幸(滋賀県立石山高等学校)川嶋宗維(滋賀大学教育学部環境教育湖沼実習センター)
- C105 森林教育が生徒の森林観に及ぼす影響(Ⅰ)～事前・事後における意識の比較～：○比屋根哲・山本信次(岩手大学農学部)大石康彦(森林総合研究所東北支所)
- C106 森林教育が生徒の森林観に及ぼす影響(Ⅱ)～絵を描かせるアンケート調査から～：○大石康彦(森林総合研究所東北支所)比屋根哲(岩手大学農学部)
- C107 自然体験活動の実践とその環境教育的な意義に関する考察：○佐藤朝代(けやの森幼稚園)土方幹夫(駿河台大学)小林徹(長崎国際大学)福田直(埼玉県立狭山高等学校)
- C108 環境教育と「総合的な学習」：宮園衛(新潟大学)
- C201 大学における環境教育教材～甲南大学・環境教育教材「人間と環境」を事例として～：谷口文章(甲南大学)山本正高(〃研究生)○渡辺りわ(大阪教育大学大学院)
- C202 イネの栽培を軸に展開する総合的な学習：○津田美子(名古屋市立正木小学校)津田智(岐阜大学流域環境研究センター)
- C203「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習のカリキュラム開発(2)～「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習の現状と提言～：伊原浩昭(千葉県千葉市教育センター)田中明(神奈川県田島小学校)伏木久始(東京学芸大学附属竹早小学校)田邊佳伸(東京都御蔵小学校)市川城次(神奈川県西高津小学校)
- C204「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習のカリキュラム開発(3)～欧米の環境・エネルギー教育の動向～：○山下宏文(京都教育大学)多田恭之(原子力安全システム研究所)井元りえ(山梨大学)鷹野山希子(埼玉県大宮小学校)
- C205 生成する環境教育への物語論的アプローチ～原初的「環境教育」が生成する場のラフ・スケッチ～：今村光章(仁愛大学)
- C206 Ben Watchingによる生命環境教育の実践(1)：高桑進(京都女子大学短期大学部)
- C207「環境教育の適時性内容及び方法」：雨森良子・山田卓三(名古屋芸術大学美術学部)
- C208 市民の自然保護教育運動としてのネイチャーゲーム史：降旗信一(東京農工大学大学院・社団法人日本ネイチャーゲーム協会)
- D101 屋久島をフィールドとする自然体験と環境学習：○村山康二・斉藤榮司((財)屋久島環境文化財団屋久島環境文化研修センター)
- D102 ドイツ自然保護地における環境教育：上原巖(東京農業大学短期大学部)
- D103 日本の大学生を対象としたオーストラリア熱帯雨林復元フィールド教育プログラムの開発とその実践：○小堀洋美(武蔵工業大学環境情報学部) Bruce Williams (Center for Rainforest Studies, The School for Field Studies, Australia)
- D104 環境教育のフィールドとしての都市公園に関する研究：○奥山陽子((社)日本環境教育フォーラム・東京農業大学大学院農学研究科造園学専攻)進士五十八(東京農業大学)
- D105 幼児教育者養成教科で「環境」をどう紹介しているか(7)：近藤正樹(白梅学園短期大学)
- D106 乳幼児期における環境教育の研究(1)～幼児教育における環境教育のとらえ方の検討～：大澤力(東京家政大学)
- D107 領域「環境」をめぐる保育史一復刻版「幼児の教育」の記事にみる戦前の状況一：瀧川光治(聖和大学)
- D108 視聴覚教材「ヨーロッパの環境教育」の作成：時井純子(久留米市役所建設部)
- D201 森林バイオマスの利用と環境教育への展開(1)：秦誠(こうべ森の小学校・全国雑木林会議2001神戸事務局長)福田峰子(こうべ森の小学校)中川重年(神奈川県自然環境保全センター)○山田隆信(山口県林業指導センター)
- D202 市民原理の伊勢湾指標を協働で作成する実験について：○高山進・山田二久次・前田武・蘆田喜久雄(三重大学生物資源学部)
- D203 森林バイオマスの利用と環境教育への展開(2)：秦誠(こうべ森の小学校・全国雑木林会議2001神戸事務局長)福田峰子(こうべ森の小学校)○中川重年(神奈川県自然環境保全センター)山田隆信(山口県林業指導センター)
- D204 地域住民による自然保護運動が守るものとは～ビーナスライン路線変更運動を例に～：笹原健史(東京農工大学大学院)
- D205 里山保全運動の現代的意義とその課題～狭山丘陵における里山保全運動の事例分析から～：小川有

- 紀子(東京農工大学大学院)
- D206 環境教育としてのエコツーリズムの役割：○中端章博((財)地球環境戦略研究機関)阿部治(埼玉大学)ビシユヌ・バンダリ((財)地球環境戦略研究機関)
- D207 環境学習からみる原発住民投票～新潟県巻町を事例に～：城取卓馬(東京農工大学大学院)
- D208 東アジア地域における酸性雨問題に関する普及啓発活動：佐藤二郎・○山下研・河内綾子((財)日本環境衛生センター酸性雨研究センター)
- E101 「環境のための地球観測プログラム(GLOBE)」の成果～GLOBE/参加学校アンケート調査より～：辻忠恭(東京学芸大学環境教育実践施設)
- E102 情報ネットワークを活用した環境学習プロジェクトの課題～環境学習ネットワーク(EILNet)参加学校アンケート調査より～：叶田真規子(東京学芸大学環境教育実践施設)
- E103 環境教育プログラム編みなおしのための提案：陸斉(長野県自然保護研究所)
- E104 大阪教育大学小学校教員養成課程総合認識系総合認識教育専攻の試み：梶形公也(大阪教育大学)
- E105 eラーニングシステム開発と環境教育実践：佐藤真久((財)地球環境戦略研究機関(IGES))
- E106 地域のナチュラリストと自然博物館における体験的環境学習：○佐々木史江・阿部道生(鶴見大学歯学部)
- E107 環境に関する認識・行動と教育に関する研究(4)～環境家計簿を用いた学習による環境認識と保全行動の変化～：○日比純子(岐阜大学教育学部・大垣市立赤坂中学校)杉原利治(岐阜大学教育学部)
- E108 目標としての感じる、知る、参加の課題：渡辺隆一(信州大学教育学部)
- E201 沿岸における環境教育に向けた取り組み：下山田隆(佐賀県昭栄中学校)
- E202 環境教育・学習と合意形成：水山光春(京都教育大学)
- E203 大学単位 交換科目「京都学生・青年環境アクション21プロジェクト演習」の実践例：○笹谷康之・佐藤典司(立命館大学)谷口知弘(京都工芸繊維大学)世古一穂(NPO研修・情報センター)
- E204 我が国の中学生の環境問題に関する意識と知識(Ⅱ)～第3回国際数学・理科教育調査第2段階調査から～：鳩貝太郎(国立教育政策研究所)
- E205 看護系教育機関における環境教育の現状とあり方：脇誠治(群馬県立医療短期大学)
- E206 高等学校における環境教育～生徒の認識と教師による生徒の実態把握～：森井康幸(吉備国際大学)
- E207 大学の森「演習森」と野外教育：○枚田邦宏・井倉洋二・松元正美・馬田英隆(鹿児島大学農学部)
- E208 小学生による愛媛大学農学部探検：杉森正敏・
- 運澤克也(愛媛大学農学部)
- F101 森林保全と環境教育をめぐるアフリカと屋久島の民際交流：○安溪貴子(山口大学非常勤講師・カガメガ環境教育プログラム日本事務局)W.オケカ(カガメガ環境教育プログラム代表)A. K. バサボセ(コンゴ民主共和国自然科学研究所・ボレボレ基金)手塚賢至(ヤクタネゴヨウ生態木調査隊)
- F102 ケニアでの森林保全教育におけるキリスト教のやくわり～カガメガの森の例から～：○W. オケカ(カガメガ環境教育プログラム代表) 安溪貴子(山口大学非常勤講師・カガメガ環境教育プログラム日本事務局)
- F103 内戦の中での希望～コンゴ民主共和国におけるゴリラ保護とボレボレ基金の活動～：○A. K. バサボセ(コンゴ民主共和国自然科学研究所・ボレボレ基金)J. カヘクワ(ボレボレ基金代表)安溪貴子(山口大学非常勤講師・カガメガ環境教育プログラム日本事務局)
- F104 デンマーク、ドイツの環境教育事例報告：大橋照枝(麗澤大学)
- F105 日本・韓国・中国における環境教育の段階：○高橋正弘((財)地球環境戦略研究機関)阿部治(埼玉大学)
- F106 田園空間博物館と環境教育：北川光雄(静岡英和短期大学非常勤)
- F107 環境エネルギー館の学校対応プログラムについて：○赤松良彦・森高一(東京ガス環境エネルギー館)
- F108 農業体験を軸にした修学旅行の実践～南房総の人とのふれあいを通して～：瀧田健司(名古屋市立大曾根中学校)
- F201 小学校の環境教育における学習の深化とそれを支える諸条件～学校外の機関・人材の活用に関心をあてて～：古家昌子(東京都谷戸小学校)
- F202 保育における環境教育について：石坂孝喜(大塚保育園)
- F203 保育者養成校における環境教育の課題：○田尻由美子(精華女子短期大学)井上美智子(近畿福祉大学社会福祉学部)
- F204 自然的・社会的・文化的環境の一体化による主体的環境観の育成(その15-動物園を活用した生活科環境学習-)：中島美恵子(富山県定塚小学校)
- F205 人的環境と算数教育：山路伸子(大阪市立梅香小学校)
- F206 都市部小学校における緑地を利用した自然環境教育の実態：○大越美香(東京大学大学院)熊谷洋一(東京大学)
- F207 環境教育を実践できる保育者養成～総合演習での試み～：松永三姉婦(大阪薫英女子短大)

- F208 幼児を対象とした環境教育・野外教育に関する研究動向の把握：○五十嵐三枝・関岡東生(東京農業大学大学院)
- G101 家電リサイクル法の効用：○石田映子・鈴木桃子・藤井涼・河野汀(湘南工科大学)
- G102 「リサイクルは幻想か?」という名の授業づくり：竹澤伸一(千葉県大洲中学校)
- G103 「ものづくり」を通じた実践的環境教育～「環境教育宣言」と学校設定科目「技術と環境」～：飯尾美行(静岡県立浜松城北工業高等学校)
- G104 技術科教職課程「原動機」の授業における環境教育の視点：白砂洋志夫(清泉女学院短期大学)
- G105 「II食糧事情」の学習内容構想～総合授業「食と環境」の開発～：○重松久美・宇高順子(愛媛大学教育学部)赤松純子(和歌山大学教育学部)
- G106 「木材から紙を作る」製紙実験教材の開発～総合授業「ゴミと資源・エネルギー」の開発～：○宇高順子・渡邊俊之(愛媛大学教育学部)赤松純子(和歌山大学教育学部)
- G107 ビジュアル教材「紙ゴミのゆくえと循環」の開発～総合授業「ゴミと資源・エネルギー」初級編～：○宇高順子・渡邊俊之(愛媛大学教育学部)赤松純子(和歌山大学教育学部)
- G108 地球環境戦略研究機関環境教育プロジェクト第一期の成果：阿部治(埼玉大学・(財)地球環境戦略研究機関)
- G202 動物園でおこなう環境学習プログラム(2)：松本朱実(元多摩動物公園動物解説員)
- G203 到津の森での環境教育の歩みとこれから：○原賀いずみ・加藤久美子・古城正弘(到津の森の語り部インタープリテーション研究会)
- G204 動物園を基盤とした市民参画による自然環境保全への試み：高橋宏之(東洋大学大学院・千葉市動物公園)
- G205 参加体験型環境教育施設に関する研究(2)～動機づけ理論による有効性の検証～：○戸田敬(埼玉大学大学院教育学研究科)石田康幸(埼玉大学教育学部)
- G206 学校ビオトープの基礎的研究(IV)～共生のプログラムチック・デザイン～：赤尾整志(グローバル環境文化研究所)
- G207 学校ビオトープの活用等に関する実態調査：戸田耿介(兵庫県立人と自然の博物館)○谷村載美(大阪市教育センター)金下玲子(阪神都市ビオトープフォーラム)
- G208 ワークショップ形式による学校ビオトープ整備に関する事例報告：清田秀雄(江東区土木部)
- H101 市民によるグリーンコンシューマーガイド作成に関する環境社会心理学検討：杉浦淳吉(愛知教育大学教育学部)
- H102 環境教育と消費者教育の接続カリキュラムに関する研究～「持続可能な消費のための教育」に関する国際的動向からの視座～：○松葉口玲子(鳴門教育大学学校教育学部)市川智史(滋賀大学教育学部環境教育湖沼実習センター)
- H103 エコロジーの形(2)…衣服の場合：乾淑子(北海道東海大学)
- H104 「持続可能性に向けての教育」の意義と特質の基礎づけ：○石川聡子(大阪教育大学)井上有一(京都精華大学)今村光章(仁愛大学)塩川哲雄(大阪府立北千里高等学校)原田智代(京都精華大学)
- H105 リサイクルを超えて!：高月紘(京都大学環境保全センター)
- H106 原子力と環境に関する一般教育：河野汀(湘南工科大学)
- H107 「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習のカリキュラム開発(4)資源エネルギー環境に関する総合的学習のカリキュラム：○鈴木真(東京都石神井小学校)小宮豊(東京都羽田小学校)武田清美(文化女子大学附属杉並中・高等学校)伊藤瑞穂(慈光幼稚園)堀米達也(神奈川県西高津中学校)
- H108 持続可能な社会づくりの担い手として必要な能力の整理に関する考察：○渡辺敦(NPOかながわ環境教育研究会)山本長史(神奈川県)嵯峨創平(都市環境教育研究会)他
- H201 女性政治家によるさらなる環境改善へ～エコフェミニズムの視点から～：山口裕司(宮崎公立大学)
- H203 アンネのバラを植え継ぎ語り継ぐ～平和・人権・環境の総合学習への試み～：○西城戸司(埼玉大学理学部)篠崎恵昭(埼玉大学教育学部)
- H204 環境教育教官育成プログラムの開発～環境教員養成課程の比較検討を通じて～：○岩井省一(河合塾)今村光章(仁愛大学)
- H205 ルポルタージュによる学習の統合～成人教育としての環境教育へ向けて(VI)～：大島英樹(立正大学)
- H206 港の生物の観察を通して人間が海に与えている影響を考える環境教育プログラムについて：○中嶋清徳・近藤幸恵(名古屋港水族館)
- H207 環境配慮型ホテルに関する研究 第1報：シャレットによるホテル建設へ向けての取組み：○村上裕子・岩渕善美・笠原三紀夫(京都大学大学院)
- H208 社会企業家育成による問題解決ネットワークの構築：山口洋典((財)大学コンソーシアム京都)
- I102 中学校環境と教育：楠本秀(大木町立大木中学校)
- I103 水資源の有効利活用からみた雨水の水質：○橘淳治(大阪府立境上高等学校)小山修平(大阪府立大

- 学)中尾良知(協同組合リ・バウンド)南田高志・堀間雅行(大阪府立大学)
- I 104 郷土食と環境学習：○井村礼恵(多摩川源流研究所)木俣美樹男(東京学芸大学環境教育実践施設)
- I 105 直方市・近畿大学まちづくり研究センターでの環境教育：○川堀進・吉田健太郎・河済博文・坂本栄治(近畿大学九州工学部)
- I 106 工学系で学ぶ学生への菌類を含めた自然教育：○安藤正信・高原光子(日本大学生産工学部)
- I 107 工学系学生に対する環境教育(V)：○伊藤健・藤原康倫・藤井涼・石田映子・菅谷奈緒美・河野汀(湘南工科大学)
- I 108 大学生から小学生へ～エコ啓発教材の開発～パソコンによる環境紙芝居「エコパーフェクト」プロジェクトについて：櫻井涉・梅田聖美(大学生環境ネットワーク「ECO-Q」)
- I 203 持続可能な社会を展望するエネルギー・環境教育：和田武(立命館大学産業社会学部)
- I 204 環境教育にこそ算数の力を役立てよう：田中敬子(兵庫県すみれが丘小学校)
- 展示発表**
- P001 学校内外の廃棄物を生かしたビオトープの保全活動による総合的な環境学習教材作り等に関する研究：田明男(大阪市立都島小学校)
- P002 甲南大学における循環型コミュニティの創造活動：桔梗佑子・○小山真輔・渡辺りわ・天野雅夫・鎌田靖子・谷口文章(甲南大学)
- P003 到津の森での環境教育の歩みとこれから：原賀いずみ・加藤久美子・古城正弘(到津の森語り部インタープリテーション研究会)
- P004 学校と周辺施設の連携を求めて：○小杉慶子(横浜雙葉中学高等学校)尾崎理恵((財)日本野鳥の会サントリーセンター横浜自然観察の森担当)
- P005 総合学習に伴う学校と周辺施設の連携についてあなたの考えをお聞かせ下さい：○尾崎理恵((財)日本野鳥の会サントリーセンター)小杉慶子(横浜雙葉中学高等学校)
- P006 太陽光発電パネルをきっかけに環境・エネルギー教育(1)：枝松芳枝(東北緑化環境保全株式会社)千葉・本間・草野(東北電力)・森川(ヴォイス)成田(仙台市教育センター)・青木(少年自然の家)菅原(仙台市立南小泉小学校)・三塚(仙台市立黒松小学校)亀崎(仙台市立東長町小学校)・鈴木(仙台市立二番丁小学校)久保(仙台市立北仙台小学校)
- P007 自然体験キャンプが児童の心理的健康および自然観に与える効果(5)：杉浦嘉雄・○山本義史(日本文理大学工学部)
- P008 自然体験キャンプが児童の心理的健康および自然観に与える効果(6)：○杉浦嘉雄・山本義史(日本文理大学工学部)
- P009 クリーナプロダクションに基づく循環型社会システムの検討：関寛昭・許国裕・坂井宏光(日本クリーナプロダクション研究会・九州国際大学大学院)
- P010 学校ビオトープの維持管理：藤本妙子(大阪外国語大学大学院)
- P011 「加賀市鴨池観察館」における総合学習への取り組み：油谷しおり((財)日本野鳥の会サントリーセンター)
- P012 生命の循環過程を体験できる生命環境教育の実践(2)：高桑 進(京都女子大学短期大学部)
- P013 環境エネルギー館の学校対応プログラムについて：赤松良彦・森高一(東京ガス環境エネルギー館)
- P014 環境教育と学校ビオトープ(V)～自治体(北九州市)による学校ビオトープづくりの普及・促進の事例～：赤尾整志(グローバル環境文化研究所)土谷光憲(株式会社 生態計画工房)
- P015 子どもの環境学習：苗床江里(北九州こどもエコクラブ)
- P016 公害の克服・よみがえった空と水：森本美鈴(北九州市環境科学研究所)
- P017 異年齢による(小・中・高・大学生・大人)協働の環境啓発活動：吉田順子(こども環境ネットワーク"もしもし地球")
- P018 有明海の環境教育と、学校・地域との連携について：○早川留美子・東梅貞義(WWFジャパン、自然保護室)
- 自由集会**
- M001 動物園・水族館での環境教育の可能性を考える(2)～野生動物保全のためにできること～ 主催：動物園環境教育会議 陸斉・高橋宏之・田中広樹・中嶋清徳・長倉かすみ・並木美砂子・松本朱実
- M003 持続可能性」に向けての環境教育 企画：今村光章(仁愛大学)・石川聡子(大阪教育大学)
- M004 環境教育と学校ビオトープ(V)～自治体(北九州市)による学校ビオトープづくりの普及・促進の事例～ 企画：赤尾整志(グローバル環境文化研究所)土谷光憲((株)生態計画工房)
- M005 食と農をめぐる環境教育 企画：阿部道彦((社)農山漁村文化協会)原田智代(京都精華大学)
- M006 ミニシンポジウム 大学環境教育研究会のこれまでの10年と今後の展望 主催：大学環境教育研究会(幹事代表：下羽友衛) 報告者：和田武(立命館大学)下羽友衛(東京国際大学)
- M007 幼児期の環境教育～環境教育の原点としての